

Title	集団・組織を表す字音形態素について： 「陣」「団」「隊」「班」を中心に
Sub Title	
Author	楊, 陽(Yo, Yo)
Publisher	慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
Publication year	2017
Jtitle	日本語と日本語教育 No.45 (2017. 3) ,p.109- 109
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	大学院文学研究科日本語教育学分野修士論文要旨
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00189695-20170300-0109">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00189695-20170300-0109</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

〔大学院文学研究科修士論文〕

## 集団・組織を表す字音形態素について —「陣」「団」「隊」「班」を中心に—

楊 暘

本研究は、集団・組織を表す字音形態素のうち、外国人日本語学習者にとって区別のつきにくい「陣」「団」「隊」「班」を取り上げ、考察を試みたものである。

考察に際して使用した資料は、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)より検出されたものであり、補完的な意味で、インターネットなどに掲載された新聞記事も参考した。こうした資料に基づき、主に「陣」「団」「隊」「班」の前接語基の性格とその意味用法の両面に注目し、考察を進めた。

まず、品詞性・語種・意味分野という三つの角度から、「陣」「団」「隊」「班」の前接語基の性格を探った結果、この四つの字音形態素は、いずれも漢語名詞、あるいは動作性の強いサ変動詞と結びつくことが圧倒的に多いことが分かった。また、前接語基の意味分野について、全体の傾向としては、「人間活動—精神および行為」を表す語がもっとも多く、次いで、「人間活動の主体」という意味の語もかなりの数がある、ということが確かめられた。

続いて、本研究での柱となる字音形態素「陣」「団」「隊」「班」それぞれの意味用法を考察したところ、次のようになった。

「陣」の中核的な意味は「あることがらを戦い・いくさのように見立てて、互いに対抗しあうこととして扱う」ととらえ、「陣」の用例のほとんどがメタファー表現として捉えられる、と結論づけた。次に、「団」の中核的な意味は「あることがらをひとまとまりとして扱い、集団・組織内の人員構成や役割分担までは考えない扱いをする」ととらえられ、強い結束力や団結心が強調される集団・組織を「団」で呼ぶことが多いと結論づけた。さらに「団」には「ひとかたまりに集まったもの」という意味から広がった用法もあることを指摘した。「隊」については、「規律正しく組織されたり、一定の専門知識・訓練を必要とされたりする集団・組織を表す」というのが「隊」の中核的な意味であるととらえた。そして、四つの字音形態素の中で「隊」はもっとも軍隊にかかわりが深いが、その用法は軍隊にかかわるものとかかわらないものに二分される、と考えられることを主張した。また、希望を表す助動詞「～タイ」の掛詞としても用いられるのが造語上の特徴である。最後に、「班」の中核的な意味は「上位集団に所属し、明確な行動目的をもつ比較的少人数の低位集団を表す」ととらえた。前接語基の使用範囲が広い場合、「班」と呼ばれる小集団の所属や行動目的などの必要な情報は、前接語基そのものから分かることが多いが、一方で、前接語基の使用範囲が狭い場合、そうした必要な情報は文脈、あるいは語形の長い前接語基から把握される、と結論づけた。

以上のように、集団・組織を表す「陣」「団」「隊」「班」それぞれの特徴を明らかにした。